

第 2 章 都市づくりのビジョン

本章では、本市における都市づくりのビジョンと、ビジョンを実現していくための目標を記載しています。

1 都市づくりのビジョン

P26

2 都市づくりの目標

P27

第2章 都市づくりのビジョン

1 都市づくりのビジョン

第2次橋本市長期総合計画における将来像も踏まえ、第1章で示した都市づくりの課題に対応し、持続発展可能な都市を実現するため、都市づくりのビジョンを次のように設定します。

豊かな自然と文化・歴史を基盤に、農商工のモノづくりが育つ

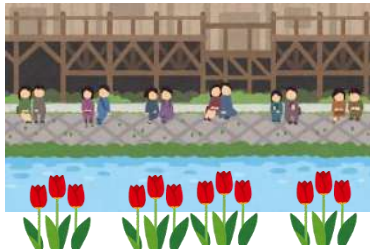
賑わい住宅都市 橋本

産業や観光が盛んで昼間も人で賑わうまち



将来のまちのイメージ

四季折々の花や紀の川の風景等に惹かれる魅力あるまち



拠点に人が集い、交流が生まれるまち



都市づくりのビジョンに込めた想い

○豊かな自然と文化・歴史

風土に培われた豊かな自然、歴史・文化、世界遺産 高野参詣道「黒河道」、日本遺産「葛城修験」などの観光資源を保全・活用し、まちの魅力に磨きをかける田園都市を目指します。

○農商工のモノづくりが育つ

生産高全国4位の柿、県下1位の鶏卵生産、高野山麓精進野菜等の農業生産品、日本一のシェアを誇る紀州へら竿（経済産業省指定伝統的工芸品）、生産高全国1位を誇る高野口のパイル織物など独自の地場産業や既存産業等の振興により、冠名がつけられるほど知名度の高い産業の発展を目指します。

○賑わい

都市の核や地域の核となるエリアの整備や土地利用の適正な利用促進により、居住地域や交流拠点の集約を進め、コンパクトで持続可能な都市の骨格を作り、人口密度の維持・向上を促すとともに、人々が自発的・積極的にまちに関わり、活動や交流のできる環境を構築することで賑わいのある都市づくりを目指します。

○住宅都市

大阪都市圏の衛星都市である本市では、多様な働き方や暮らし方が求められる今の時代に即した様々な世代や立場の人々がそれぞれのライフスタイルを実現できる都市づくりを目指します。

2 都市づくりの目標

都市計画マスタープランにおける都市づくりの目標は、都市づくりのビジョンの実現に向けて目指すべき方向を示すものです。都市づくりのビジョンから今後の都市づくりに重要なキーワードを基本的視点として設定します。

(1) 都市づくりの基本的視点

① 集約

拠点における商業業務・教育文化・医療福祉等の機能や各地域を結ぶ公共交通機能の強化、公共サービスの充実等により、日常生活の利便性を確保する視点

② 居住

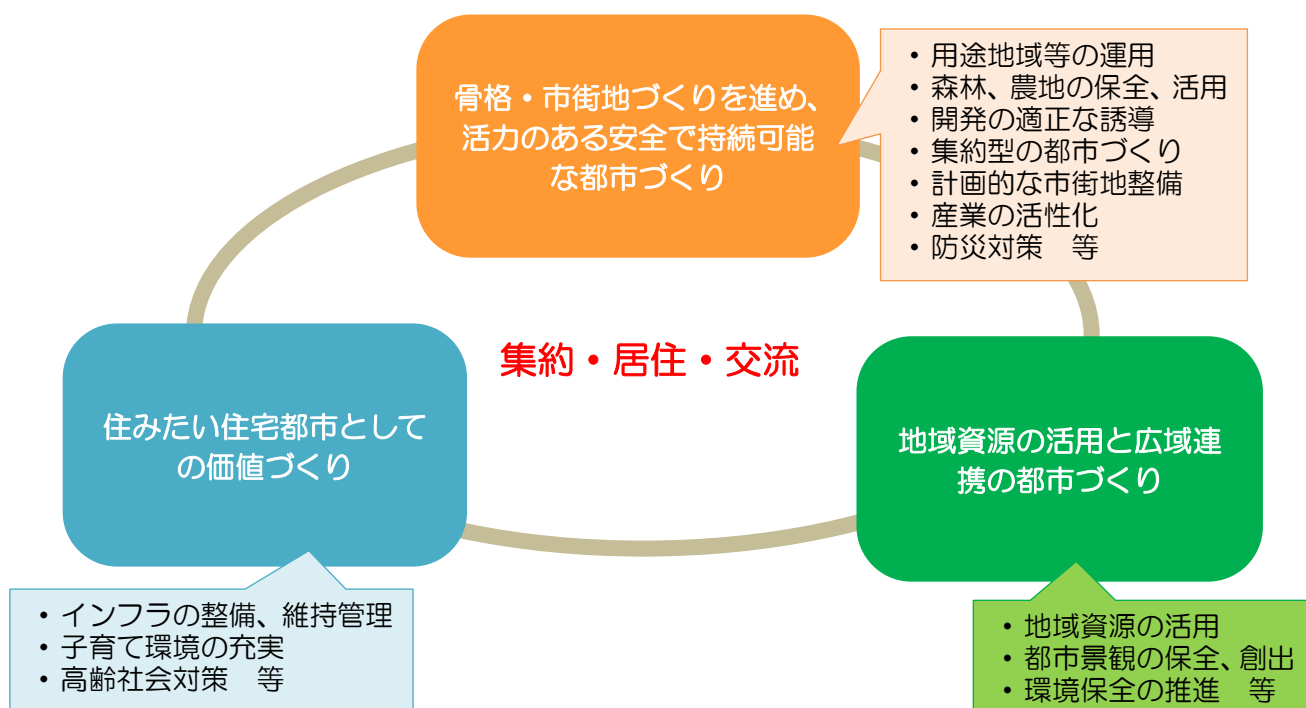
幅広い世代が、安全・安心で快適な環境で、住みたい・住み続けたいと思える質の高い住環境を形成する視点

③ 交流

行政、市民等、民間がお互いに持てる力を発揮し、地域固有の資源等を活かした交流（人流・物流・商流）を促進する共創と連携の視点

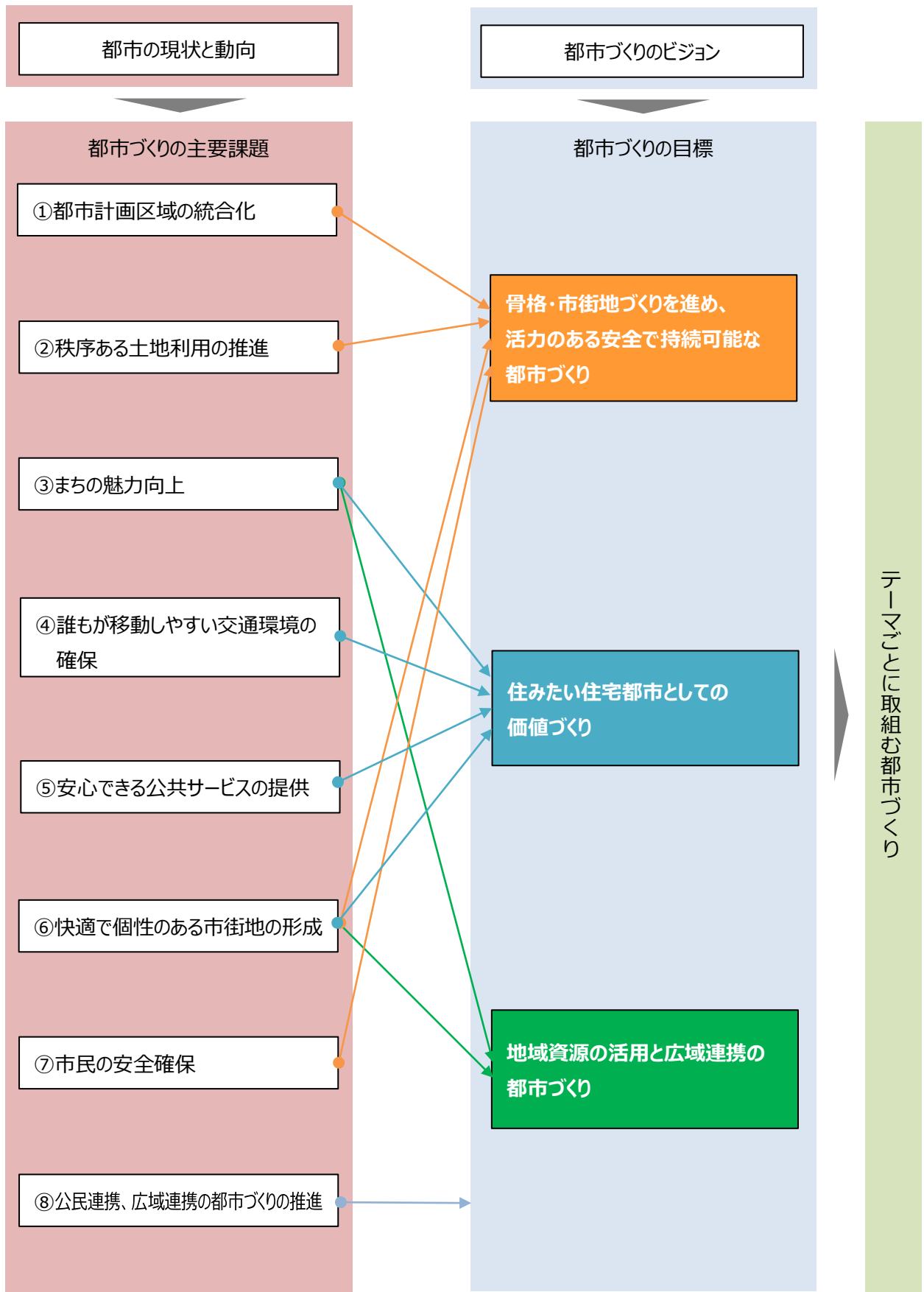
(2) 都市づくりの目標

都市づくりの目標は、基本的視点に着目するとともに、地域活性化の観点から「緩やかな規制・誘導」、また、限られた財源下でのインフラ整備の観点から「選択と集中」、さらに、多様な主体による都市づくりの観点から、市民とともに作り上げていく「協働・共創」を基本的な取組方針として設定します。



都市づくりの目標

都市づくりの主要課題と都市づくりの目標の関係性



矢印は、特につながり強い関係性を示しています。